



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

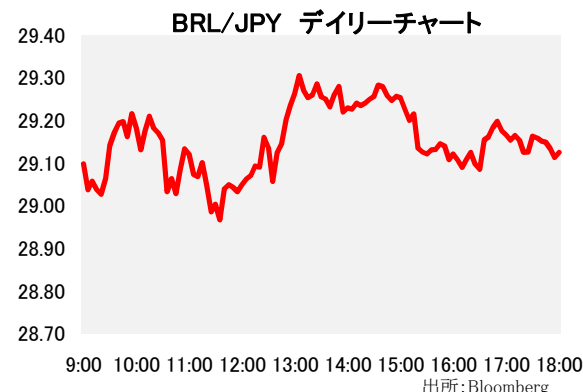
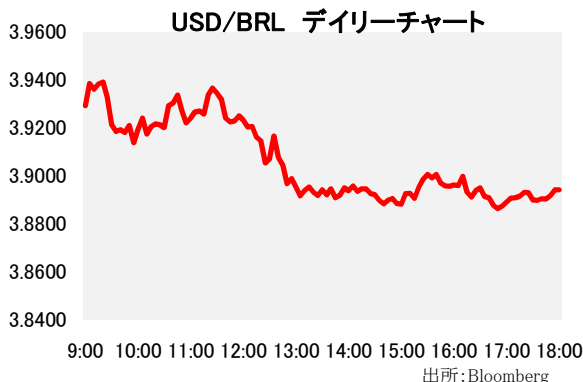
1. マーケット・レート

			2月25日	2月26日	2月29日	3月1日	3月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9560	4.0000	4.0150	3.9340	3.8940	-0.0400
	BRL/JPY	Spot	28.56	28.53	28.08	28.97	29.13	+0.16
	EUR/USD	Spot	1.1026	1.0936	1.0880	1.0865	1.0869	+0.0004
	USD/JPY	Spot	112.92	113.97	112.75	113.91	113.41	-0.50
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.193	14.210	14.202	14.136	14.111	-0.025
	Future	1Year(p.a.)	14.273	14.284	14.214	14.049	14.115	+0.066
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	3.333	3.408	3.493	3.252	3.148	-0.104
		1Year(p.a.)	3.936	4.018	3.944	3.689	3.582	-0.107
株式	Bovespa指数		41,888	41,593	42,794	44,122	44,893	772
CDS	CDS Brazil 5y		451.33	460.58	456.85	444.34	446.04	+1.70
商品	CRB指数		162.637	161.670	163.216	163.870	164.615	+0.75

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE消費者物価指数(月次)	0.85%	0.89%	1.37%
PPI 製造業(前年比)	--	10.49%	9.43%
商品価格指数(前年比)	--	23.72%	31.82%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-4.8%	-4.3%
(米)ADP雇用統計	190k	214k	193k
(米)ISMニューヨーク	--	53.6	54.6



3. 要人コメント

ムーディーズ・レーティング	政府が融資を促進していることは銀行のリスク資産を急増させる可能性がある。
---------------	--------------------------------------

4. トピックス

- 本日のリアルは3.9330で寄りつき、直後に安値となる3.9400をつけた。昨日に引き続き世界でリスクオンムードが続く中、リアルは堅調に推移。ボベスパ指数が年初来高値を試す展開となる中、リアルも高値となる3.8850をつけた。結局3.8940でクローズ。
- ボベスパ指数は商品市況の堅調を受けて3日続伸し、年初来高値を更新した。
- 米エネルギー情報局の統計で米製油所で原油需要が増加したことや、ガソリン在庫が減少したことを受けて、原油価格は堅調に推移した。WTI先物の直近限月物は一時35台を回復し、約2ヶ月ぶりの水準で引けた。
- 米地区連銀経済報告では大部分の地域で景気拡大が続いていることが示された。個人消費は過半数の地区で増加し、融資需要も大部分の地区で増えた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。